

自分らしいかかわり方を考えて進む、真の国際理解教育に注目

共学校

桜美林中学校

【学校HP】<https://www.obirin.ed.jp/>

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 Tel.042-797-2668

最寄駅／JR横浜線「淵野辺駅」徒歩20分。「淵野辺駅」・JRなど「町田駅」からバス「桜美林学園前」ほか。スクールバス：京王線・小田急線・多摩都市モノレール「多摩センター駅」、「淵野辺駅」からあり。



3生と一緒に参加し「積極性や英語力の高さに驚いた」と話す二人。「Global Study Tour for SDGs」の詳しいレポートについては学校HPをご覧ください。

自分らしいかかわり方を見つけた先輩からのメッセージ



(望月美佑さん／弓道部)

私の迷路のキーワードは「コミュニケーション」です。その横には、会場コンクールや体験型など、クラスが組む活動を通して実感した協働や共創によるやりがいがあります。今回のツアーリーに参加するまでは漠然としていましたが、貧困に苦しめられている方々を支援したいという気持ちがふくらんでいます。

(杉浦侑里香さん／ダンス部)

人とかかわる経験値を積めるのが、6学年が同じキャンパスで学ぶ中高一貫校の魅力だと思います。私は活動で鍛えられました。今回、海外の方との交流でもそれは力になりました。話しているうちに英語への苦手意識が消えていました。私が好きな「食」と「世界」がつながり、今は子どもたちに平等に食を届ける仕事に魅力を感じています。

国際理解教育は視野を広げ、五感を磨く貴重な機会

創立者が国際ボランティアのバイオニアである桜美林の国際理解教育は、日々教室で学んでいる語学の実践にとどまらず、異なる文化や価値観に触ることにより視野を広げ、五感を磨くことを目的としています。全員参加のオーストラリア研修旅行（中3・全員）をはじめ、海外留学プログラムが豊富な上に、留学の受け入れも積極的に行っており、学内にいても異文化交流を体験できる環境が同校の魅力の一つです。新型コロナウイルスの影響により、昨年度は海外へ渡航しての研修がすべて中止になりました。今年度も厳しい状況3生と一緒に参加し「積極性や英語力の高さに驚いた」と話す二人。「Global Study Tour for SDGs」の詳しいレポートについては学校HPをご覧ください。

発展途上国の実情を観察する、オンラインツアーアを実施

そうした現状の中、高校生を対象に、カンボジア、フィリピンをオンラインでつなぐ体験型プログラム「Global Study Tour for SDGs」（90分×5日間）が実施され、3年生12名・2年生4名が参加しました。2年生は3名が中学校からの内進生です。

その一人、望月美佑さんは海外に興味があり、発展途上国の実情を知りたいという思いから参加しました。望月さんは入学以来、授業を通して英語を学ぶ楽しさを知り、農家ホームステイ（中2）では自ら働きかけるコミュニケーションの大切さを感じて、英語力とコミュニケーションの力が試されるオーストラリア研修旅行（中3）で自信をつけました。6月末）を希望する8名が力ナダへ渡航。毎年、実施している韓国・細花高校（姉妹校）との交流も、オンラインによる再開に向けて調整を進めています。韓国語の選択授業受講者（中3希望者／高校でも継続可。中国語も実施）にとって、日頃の学習の成果を発揮する、貴重な場となるでしょう。

「そこで目にした、学校に行けない、満足に食事がとれない、ゴミ山（ダンブサイト）で生きるしかない…。そんな子どもたちの姿はすべてが衝撃的で、自分が暮らしている環境は当たり前ではないことを痛感すると同時に、この状況を多くの人に知ってもらう必要がある。その役割を私が担いたいと思いました」人々の生き様に心を搖さぶられ、自身の生き方を考える生徒たちこのプログラムのねらいは、発展途上国の支援者を媒介に、2つの国が抱える問題を自分なりに受け止めて考えることになります。杉浦侑里香さんは、SDGs 17の目標から1つ選んでレポートを書くという課題（高1）で知識や考えを深めた「飢餓をゼロに」をフックに、発展途上国の支援活動に興味を持つて、支援活動をし

●INFORMATION●

■学校説明会 ※要予約
11月3日(水/祝) 12:30~14:00

■総合学力評価プレテスト ※要予約
12月11日(土) 9:30~11:30

■中学校入試説明会 ※要予約
12月11日(土) 14:00~15:50
※2022年1月にも実施します。

※詳細は学校HPをご覧ください。

ション力、2つの力が試されるオーストラリア研修旅行のインター大學生もいて「刺激を受けた」と言います。

「自國ではない場所で生活する勇気や、現地の人とコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていて、海外ボランティアの活動をもうつたら参加してみたいといふ気持ちになりました。

社会問題は非常に複雑で、簡単に解決できません。実情を目の当たりにしても、自分に何ができるのだろうと立ち止まってしまいがちですが、同校には6年間かけて自分らしい一步を踏み出す準備をする機会がたくさんあります。背中を押してくれる仲間や先生がいます。その心強さやあたたかさを、ぜひ学校に足を運んで感じてください。